



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL <https://www.moresco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 両角 元寿
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 藤本 博文 (TEL) 078-303-9220
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	25,917	9.2	1,112	5.9	1,359	△20.0	819	△38.7
2024年2月期第3四半期	23,731	5.6	1,050	105.5	1,699	48.6	1,335	85.8

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 1,278百万円(△45.2%) 2024年2月期第3四半期 2,331百万円(20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	89.32	—
2024年2月期第3四半期	144.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第3四半期	37,878	23,868	54.7	2,257.26
2024年2月期	37,053	23,122	54.3	2,179.85

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 20,701百万円 2024年2月期 20,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2025年2月期	—	20.00	—		
2025年2月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2024年2月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	6.6	1,500	22.5	1,850	1.3	1,050	△18.2	114.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期3Q	9,696,500株	2024年2月期	9,696,500株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	525,810株	2024年2月期	463,720株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期3Q	9,170,497株	2024年2月期3Q	9,230,508株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

2025年1月20日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(第3四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. 補足情報	8
(1) 製品およびサービスに関する情報	8
(2) 海外売上高	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化へ向けた取り組みが進み、景気も緩やかな回復基調にあります。物価の高止まりは続いており、製造業は力強さを欠いています。世界経済においては、米国では、大統領選挙が終わり、次期政権の大規模減税による景気の回復期待がある一方で、中国では物価の下落および消費の回復の遅れが続いているほか、米国の関税政策などにより、先行きは依然として不透明な要因が存在しております。

このような状況のもと当社グループにおいては、国内外での販売数量の増加および販売価格の是正により、売上高は25,917百万円(前年同期比9.2%増)となり、営業利益は1,112百万円(前年同期比5.9%増)となりました。一方で、為替差益および持分法による投資利益の減少により、経常利益は1,359百万円(前年同期比20.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は819百万円(前年同期比38.7%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

特殊潤滑油部門は自動車生産台数の減少により作動油、ダイカスト油剤等で減収となりましたが、冷熱媒体等の販売が堅調に推移したことにより、また、データセンターへの投資回復による主要顧客での需要増加によりハードディスク表面潤滑剤が大幅に増収となったことで、部門全体の販売数量および売上高はともに前期を上回りました。ホットメルト接着剤部門では、衛生材料用途の主要顧客での需要減少により減収となりました。素材部門は、主にポリスチレン可塑性用途向けの需要回復により流動パラフィンが増収となったことで、部門全体の販売数量および売上高はともに前期を上回りました。その他部門では、子会社の大型装置販売により、増収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は16,354百万円(前年同期比6.9%増)となり、セグメント利益は691百万円(前年同期比26.8%増)となりました。

② 中国

特殊潤滑油は日系自動車メーカーの稼働率低下の影響はあるものの中国全体での自動車生産台数の増加により、ホットメルト接着材は衛生材料用途および空気清浄機用フィルター用途の販売が堅調に推移したことにより、共に増収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は2,785百万円(前年同期比10.0%増)となりましたが、販売費及び一般管理費が増加したことにより、セグメント利益は128百万円(前年同期比20.1%減)となりました。

③ 東南/南アジア

特殊潤滑油は自動車生産台数の減少による顧客での需要の減少があるものの販売価格の是正および新規拡販により増収となりました。ホットメルト接着剤は主要顧客での在庫調整と需要減により、減収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は5,089百万円(前年同期比1.2%増)となりましたが、ホットメルト接着剤の減益により、セグメント利益は187百万円(前年同期比18.8%減)となりました。

④ 北米

特殊潤滑油は自動車生産台数の増加および昨年度に実施した事業譲受によりCross Technologies N.A. Inc.を新たに連結子会社としたことで大幅増収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は1,689百万円(前年同期比93.6%増)となり、セグメント利益は販売費及び一般管理費が増加したことにより119百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて825百万円増加し、37,878百万円となりました。これは主に、現金及び預金が383百万円減少した一方で、売上債権が976百万円、有形固定資産が355百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて79百万円増加し、14,010百万円となりました。これは主に、仕入債務が192百万円、短期借入金が322百万円それぞれ増加した一方で、長期借入金が804百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて746百万円増加し、23,868百万円となりました。これは主に、利益剰余金が405百万円、為替換算調整勘定が287百万円、非支配株主持分が172百万円それぞれ増加したことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,636	5,253
受取手形及び売掛金	7,942	8,918
商品及び製品	3,693	3,812
原材料及び貯蔵品	2,994	2,844
その他	750	436
貸倒引当金	△25	△14
流動資産合計	20,989	21,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,005	5,134
機械装置及び運搬具(純額)	2,313	2,270
土地	2,255	2,492
その他(純額)	567	599
有形固定資産合計	10,140	10,495
無形固定資産		
のれん	543	497
その他	685	782
無形固定資産合計	1,228	1,279
投資その他の資産	4,695	4,853
固定資産合計	16,063	16,628
資産合計	37,053	37,878
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,908	5,100
短期借入金	3,040	3,362
未払法人税等	268	212
賞与引当金	500	287
その他	1,143	1,796
流動負債合計	9,860	10,758
固定負債		
長期借入金	3,065	2,261
退職給付に係る負債	543	569
その他	463	422
固定負債合計	4,071	3,251
負債合計	13,931	14,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,118	2,118
資本剰余金	1,971	1,972
利益剰余金	14,674	15,079
自己株式	△561	△649
株主資本合計	18,202	18,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127	133
為替換算調整勘定	1,200	1,488
退職給付に係る調整累計額	597	560
その他の包括利益累計額合計	1,924	2,181
非支配株主持分	2,996	3,168
純資産合計	23,122	23,868
負債純資産合計	37,053	37,878

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	23,731	25,917
売上原価	17,108	18,415
売上総利益	6,623	7,502
販売費及び一般管理費	5,572	6,390
営業利益	1,050	1,112
営業外収益		
受取利息	10	27
受取配当金	15	18
持分法による投資利益	266	157
為替差益	292	11
補助金収入	—	97
その他	72	52
営業外収益合計	656	362
営業外費用		
支払利息	0	51
その他	8	64
営業外費用合計	8	115
経常利益	1,699	1,359
特別利益		
負ののれん発生益	285	—
特別利益合計	285	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	47
段階取得に係る差損	34	—
特別損失合計	34	47
税金等調整前四半期純利益	1,949	1,312
法人税、住民税及び事業税	436	408
法人税等調整額	18	△41
法人税等合計	455	367
四半期純利益	1,494	945
非支配株主に帰属する四半期純利益	159	126
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,335	819

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	1,494	945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	4
為替換算調整勘定	792	336
退職給付に係る調整額	△20	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	31	30
その他の包括利益合計	836	333
四半期包括利益	2,331	1,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,978	1,076
非支配株主に係る四半期包括利益	353	203

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/ 南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,295	2,532	5,031	872	23,731	—	23,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,103	289	46	7	1,446	△1,446	—
計	16,399	2,821	5,078	879	25,177	△1,446	23,731
セグメント利益	545	160	230	112	1,046	4	1,050

(注) 1. セグメント利益の調整額4百万円には、セグメント間取引消去0百万円、棚卸資産の調整額3百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/ 南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,354	2,785	5,089	1,689	25,917	—	25,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,294	360	6	16	1,676	△1,676	—
計	17,648	3,145	5,095	1,704	27,593	△1,676	25,917
セグメント利益	691	128	187	119	1,124	△12	1,112

(注) 1. セグメント利益の調整額△12百万円には、セグメント間取引消去1百万円、棚卸資産の調整額△12百万円および貸倒引当金の調整額△1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産および長期前払費用に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	756百万円	889百万円
のれんの償却額	66	52

3. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
特殊潤滑油	14,836	114.8%
素材	3,148	105.2%
ホットメルト接着剤	6,306	98.2%
エネルギーデバイス材料	186	150.0%
その他	1,440	113.2%
合計	25,917	109.2%

(注) 従来、「合成潤滑油」を独立掲記しておりましたが、組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より「特殊潤滑油」の区分に含める方法へ変更しております。

この変更に伴い、前年同期比についても変更後の区分で表示しております。

(2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	8,787	1,913	200	10,900
II. 連結売上高(百万円)				25,917
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	33.9	7.4	0.8	42.1

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、マレーシア、インド

北米……………米国、メキシコ

その他……………アラブ首長国連邦、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。